

公表事業所における自己評価結果

事業所名		ゆうあいくらぶ 保育所等訪問支援	公表日 令和8 年 2月 2日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6		同事業所の児童発達支援で使用している視覚支援カードを用いたり、必要に応じて紙に文字や絵を書いて提示している。	今後も、同事業所の効果的な支援を有効に活用していく。 特別な教具教材を必要としない場面が多い現状ではあるが、不十分な点に関しては他事業所との情報共有等で学ばせていただきたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員2名で対応している現状。 利用者一人一人の予定を組み、訪問する時間帯が重ならないよう調整しながら対応している。	今後も調整を密にしていく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	断続的な業務改善に向けて、同事業所の職員と情報共有を行ったが、計画の立案や実行に加わる職員は限られていた。	定期的に設けている会議等(事業所会議、支援会議)を有効に活用し、よりよい立案ができるよう取り組んでいく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表結果で保護者の意見等を把握して情報共有し、業務改善につながるよう務めている。	調査結果を集計、考察しながら事業運営に生かしていく。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	同事業所間で情報共有する機会あり。 必要に応じて現場職員からアドバイスを得て支援につなげている。	今後も継続していく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	法人として、年2回の報告会を設けている。 保育所等訪問部門として単体での参加はないが、同事業所として外部評価を受けている。	今後も第三者による外部評価の結果を受け、業務改善に努めていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内の研修には保育所等訪問に特化した研修を受ける機会はない。 外部研修を受講している。	今後も外部研修等に積極的に参加し資質向上に努めていく。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		相談支援計画書や各支援計画書(児童発達支援事業や放課後等デイサービス事業)に沿うように作成している。	こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析する視点を大切にし、ご家族に寄り添う計画書が作成できるよう努力していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	共通理解のもとで保育所等訪問支援計画を作成している。	今後も継続していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		ご家族の意向が大半を占める内容ではあるが、日々の支援で訪問先の意向に寄り添えるよう連携に務めた。	今後も連携に務めていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	計画に沿った支援を行ったが、計画書内容を全職員が共有するまでに至らず、限られた職員のみが把握している現状があった。	情報共有が不充分だったので、全職員が共有できるようにしていく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		現行のアセスメントを用いて課題を抽出している。	今後も継続していく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5		実施している。	今後も、こどもと保護者に寄り添う計画書を作成していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	問11の回答と同様	問11の回答と同様
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	R7.4～2名体制になったので支援内容の共有をしている。 支援開始直前の打ち合わせ時間を特別に設けてはいないが、定期的に設けている会議(事業所会議、支援会議)等を活用して情報共有している。	定期的に設けている会議等(事業所会議、支援会議)を有効に活用して情報共有し、よりよい支援提供につなげていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	R7.4～2名体制になったので支援内容の共有をしている。 支援終了直後の打ち合わせ時間を特別に設けてはいないが、定期的に設けている会議(事業所会議、支援会議)等を活用して情報共有している。	定期的に設けている会議等(事業所会議、支援会議)を有効に活用して情報共有し、よりよい支援提供につなげていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6		意見交換や情報共有の機会を設けている。 訪問先の支援を十分に尊重し、負担最小限で訪問させていただけるよう配慮している。	今後も学ばせていただきます。

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		訪問終了後には記録を残し、改善につなげている。	今後も継続していく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		保護者への定期的なモニタリングと見直しを行い、訪問先への意向にも寄り添えるよう連携に務めた。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		適した者が参画している。	今後も継続していく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関との連携に務めたが、幅広い機関との連携をはかることは難しかった。	今後も関係機関との連携に務めていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要な情報を提供して互いに情報共有を行い、相互理解に努めた。	今後も継続していく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	外部研修を受講した他、同事業を行っている事業所と情報交換の機会を設けた。	今後も外部研修等に積極的に参加し資質向上に努めていく。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		6	こども部会がないため、機会がなかった。	機会があれば積極的に参加していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		常に連携をはかり、状況や課題に対し共通理解を持てるよう努めた。	今後も継続していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	外部発行のパンフレットを配布する機会があったが数えるほどだった。	研修機会や情報提供機会があれば提供していく。 他、家族へ情報提供するにあたり、職員の知識向上に努めていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に行っている。	今後も丁寧な説明を行っていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		訪問させていただくにあたり、事前の説明を行っている。	今後も事業趣旨や目的を十分に理解していただけるよう丁寧に対応していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		アセスメントやモニタリング時の他、必要に応じて意思の確認を行っている。	今後も継続していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		実施している。	今後も継続していく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		日々、連携に務めている。	今後も継続して連携に務めていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	父母の会の活動を支援する動きや保護者会開催等を設ける動きはしていませんが、地域の方々に参加していただく機会として、おもちゃ図書館を毎月開催しています。 きょうだい同士で交流する機会は数える程度だった。	今後も継続していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		日々、連携に務めている。	今後も継続して連携に務めていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		保育所等訪問単独での通信発信はないが、事業所としての通信やHP掲載を行っている。	今後も継続しつつ、必要に応じて検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報管理規定に基づき管理している。	今後も継続していく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		配慮に務めている。	今後も継続していく。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		訪問先との情報共有は全職員が行った。 未就学児への訪問支援においては、視覚支援や誘導支援への助言や直接的支援を行うことができた。	今後も継続していく。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		未就学児への訪問支援においては実施できたが、就学児以上になると時間確保が難しい現状があった。	訪問先に大きな負担がかからない範囲で時間を設けられるよう環境を整えつつ、理解と協力をいただけるような関係作りに務めていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		訪問終了後には記録を残し、同内容の記録を家族等へ配布することで情報共有している。	今後も継続していく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報管理規定に基づき管理している。	今後も継続していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		未就学児への訪問支援においては専門的な立場で発言させてもらう機会があった。就学児の訪問支援においては相談対応にとどまり、教えていただくことが多かった。	日々、信頼関係の構築に務めていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		保育所等訪問単独ではないが、事業所としてマニュアルを策定し定期的な訓練を行っている。	今後も継続していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		事業所としてマニュアルを整備し、室内外の環境整備を行い安全管理に務めている他、定期的な防災訓練を実施した。	今後も継続していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		児童に危険を及ぼす行動や声がけをしないよう心掛けている。ヒヤリ発生なし。事業所としてヒヤリ発生時の記録作成と情報共有・再発防止に向けたマニュアルがある。	今後も継続して支援すると共に、ヒヤリ場面に直面した場合においては事業所の書式・方法で対応していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所としてマニュアルを整備し、定期的な研修を行っている。	今後も継続していく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		事業所としてマニュアルを整備し、定期的な研修を行っている。 現時点で対象児童なし。	今後も継続していくと共に、対象となる児童の利用がある場合には適切な対応に務めていく。